「強靭な党」構築 断じて

公明、全国県代表協議会で勇躍出発

東北復興選挙 勝ち抜く

物価高騰、少子化対策 国民目線の改革を推進

公明党は15日後、東京都新宿区の公明会館で全国県代表協議会を開き、4月の統一地方選の教訓を生かして強靭な党を築くため、党勢拡大に全力を尽くす決意を新たに出発した。山口那津男代表は、今回の統一地方選を通じて党に寄せられた期待に応えていくため「公明党の持ち味である『小さな声を聴く力』『ネットワークを生かした政策実現力』を発揮し、安心と活力に満ちた地域づくりを進めていこう」と力説。また、7月から始まる岸手、宮城、福島3県の「東北復興選挙」など次の政治決戦の勝利へ党を挙げて戦い抜くと訴えた。

＝3面に山口代表あいさつ全文

強靭な党の構築へ決意を新たに出発した全国県代表協議会＝15日　公明会館

山口代表が力説

山口代表

席上、山口代表は、今回の統一地方選を総括し、公明党の女性当選者数が全政党でトップとなり、当選者に占める女性比率が34%に上昇したと力説。当選者に占める「世代交代が進んだことも大きな前進」と強調した。

一方、今回の統一地方選では「公明党の改革姿勢が十分に伝わらなかったのではないか」との意見が寄せられたことに触れ、公明党は1999年に自民党との連立政権に参画して以来、政治家個人の企業・団体献金の禁止や消費税の軽減税率の実現など「国民目線からの改革」を貫き、庶民の声を政治に反映させてきたと力説した。

その上で、物価高や少子化の加速など難局に直面する今こそ、「連立政権の一翼として、さらに『改革のエンジン役、推進力』として、国民生活を守り抜くための政策実現をリードしていかなければならない」と訴えた。

重要政治課題では、19日から開かれる先進7カ国首脳会議（G7広島サミット）について「ロシアのウクライナ侵略が国際秩序を揺るがす中、国際社会の平和と安定へ、法の支配などの価値観を共有するG7が結束を固めなければならない」と指摘した。

また、今回のG7サミットが被爆地・広島で開催される意義を踏まえ、「『核兵器のない世界』に向けた取り組みを前進させてもらいたい」と期待を表明。「特に、核の使用と威嚇を許してはならないとの共通認識の下、『核の先制不使用』合意への一歩となるよう議長国の日本には議論をリードする役割がある」と指摘。「全議員が現場に飛び込み、一人一人に徹して寄り添いながら、『地域を照らす太陽』となって信頼の輪を大きく広げよう」と呼び掛けた。

党勢拡大へ〝共感〟が重要

石井幹事長ら強調

アクティブサポーターを拡大

西田実仁選挙対策委員長は、今回の統一地方選の結果を総括し、「議員の得票力アップを図ることは喫緊の課題だ」と指摘。市民相談の積み重ねや、時間帯・場所を工夫した街頭演説の開催、地域行事や地域貢献活動への積極的な参加などを通じて党勢を拡大した議員の取り組みを紹介した。

この総括を踏まえ、石井啓一幹事長は、党勢拡大に向けた取り組みについて、〝共感〟を広げていく重要性を指摘。また、「議員の日常活動をいかに強化していくかがカギだ」と述べ、▽訪問対話▽街頭演説▽市民相談を基にした地域の実績作り▽公明新聞の拡大――の四つの基幹活動に一層力を入れていく考えを力説した。

その上で、議員の個人人脈の中から積極的に党を支援してくれる「アクティブサポーター」を拡大する意義を強調し、「基幹活動の柱として全議員が個人人脈の拡大に本格的に取り組んでいきたい」と訴えた。

高木陽介政務調査会長は、今後の重点政策として子ども・子育て政策を挙げ、党の「子育て応援トータルプラン」を基に児童手当の拡充や子ども医療費の負担軽減などに取り組むと力説。「公明党が政府の少子化対策、子育て支援を全て作り上げているという流れを加速させたい」と述べた。

高木政調会長

西田選対委員長

石井幹事長

子育て応援プラン実現急ぐ

党勢拡大に向けては、日常から新たな支持者を得るための接点をつくり、共感を広げること」と指摘。「全議員が現場に飛び込み、一人一人に徹して寄り添いながら、『地域を照らす太陽』となって信頼の輪を大きく広げよう」と呼び掛けた。

「重要なポイントは、日常から新たな支持者を得るための接点をつくり、共感を広げること」と指摘。「全議員が現場に飛び込み、一人一人に徹して寄り添いながら、『地域を照らす太陽』となって信頼の輪を大きく広げよう」と呼び掛けた。

児童手当の拡充などの早期実現に向け、今後3年間の「集中取組期間」で実現すべき政策の優先順位を定め、政府に提言を申し入れていく考えを示した。

党勢拡大に向けては、日常から新たな支持者を得るための接点をつくり、共感を広げること」と指摘。「全議員が現場に飛び込み、一人一人に徹して寄り添いながら、『地域を照らす太陽』となって信頼の輪を大きく広げよう」と呼び掛けた。

また、今回のG7サミットが被爆地・広島で開催される意義を踏まえ、「『核兵器のない世界』に向けた取り組みを前進させてもらいたい」と期待を表明。「特に、核の使用と威嚇を許してはならないとの共通認識の下、『核の先制不使用』合意への一歩となるよう議長国の日本には議論をリードする役割がある」と指摘。「全議員が現場に飛び込み、一人一人に徹して寄り添いながら、『地域を照らす太陽』となって信頼の輪を大きく広げよう」と呼び掛けた。

子育て支援の充実では、少子化の流れを反転させる突破口となるのが、公明党が掲げる「子育て応援トータルプラン」の具体化だと力説。

子育て支援の充実では、少子化の流れを反転させる突破口となるのが、公明党が掲げる「子育て応援トータルプラン」の具体化だと力説。

界に広く発信していく契機に」と訴えた。

界に広く発信していく契機に」と訴えた。